

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成19年8月23日(2007.8.23)

【公開番号】特開2006-18463(P2006-18463A)

【公開日】平成18年1月19日(2006.1.19)

【年通号数】公開・登録公報2006-003

【出願番号】特願2004-194290(P2004-194290)

【国際特許分類】

G 0 6 F	3/12	(2006.01)
B 4 1 J	29/38	(2006.01)

【F I】

G 0 6 F	3/12	M
G 0 6 F	3/12	C
B 4 1 J	29/38	Z

【手続補正書】

【提出日】平成19年6月28日(2007.6.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

複数の給紙部を有する印刷装置に対して、印刷データを出力するデータ処理装置であつて、

前記印刷装置への出力対象の印刷データに対する印刷設定情報を設定する設定手段と、前記印刷設定情報を含む印刷データを生成する生成手段と、

前記出力対象の印刷データの前記印刷設定情報中の印刷用紙の給紙方法として、前記印刷装置に依存する給紙方法が指定されている場合、該出力対象の印刷データを該印刷装置へ出力する前に、前記印刷設定情報中の印刷用紙に関する用紙情報と前記給紙方法で示される給紙部情報とを比較する比較手段と、

前記比較手段の比較結果に基づいて、警告情報を出力する警告情報出力手段とを備えることを特徴とするデータ処理装置。

【請求項2】

複数の給紙部を有する印刷装置に対して、印刷データを出力するデータ処理装置であつて、

前記印刷装置への出力対象の印刷データに対する印刷設定情報を設定する設定手段と、前記印刷設定情報を含む印刷データを生成する生成手段と、

前記印刷装置で選択されている給紙部に関する給紙部情報を該印刷装置から取得する取得手段と、

前記出力対象の印刷データの前記印刷設定情報中の印刷用紙の給紙方法として、前記印刷装置で選択されている給紙部が指定されている場合、該出力対象の印刷データを該印刷装置へ出力する前に、前記印刷設定情報中の印刷用紙に関する用紙情報と前記取得手段で取得した給紙部情報とを比較する比較手段と、

前記比較手段の比較結果に基づいて、警告情報を出力する警告情報出力手段とを備えることを特徴とするデータ処理装置。

【請求項3】

複数の給紙部を有する印刷装置に対して、印刷データを出力するデータ処理装置であつ

て、

前記印刷装置への出力対象の印刷データに対する印刷設定情報を設定する設定手段と、前記印刷設定情報を含む印刷データを生成する生成手段と、

前記出力対象の印刷データの前記印刷設定情報中の印刷用紙の給紙方法として、前記複数の給紙部を1つの給紙部とする論理給紙部が指定されている場合、該出力対象の印刷データを出力する前に、前記印刷設定情報中の印刷用紙に関する用紙情報と前記論理給紙部に関する給紙部情報を比較する比較手段と、

前記比較手段の比較結果に基づいて、警告情報を出力する警告情報出力手段とを備えることを特徴とするデータ処理装置。

【請求項4】

前記用紙情報は、印刷用紙サイズ情報を含む

ことを特徴とする請求項1乃至3のいずれか1項に記載のデータ処理装置。

【請求項5】

前記比較手段は、前記用紙情報が示す第1印刷用紙サイズが、前記給紙部情報が示す給紙可能な第2印刷用紙サイズの範囲内であるか否かを比較し、

前記比較手段の比較の結果、前記第1印刷用紙サイズが、前記第2印刷用紙サイズの範囲内に含まれない場合、前記警告情報出力手段は、前記警告情報を出力することを特徴とする請求項4に記載のデータ処理装置。

【請求項6】

前記用紙情報が示す第1印刷用紙サイズを給紙可能な、前記給紙部情報が示す第1給紙部以外の第2給紙部が存在する場合、前記警告情報出力手段は、第1警告画面を出力し、それ以外の場合は、第2警告画面を出力することを特徴とする請求項5に記載のデータ処理装置。

【請求項7】

前記印刷装置は、印刷に使用する給紙部として、前記複数の給紙部のいずれか1つを選択する選択手段を備え、

前記第1警告画面は、前記選択手段を操作することによって、前記第1給紙部以外の第2給紙部を用いた印刷続行が可能である旨を示す画面であり、前記第2警告画面は、印刷続行が不可能である旨を示す画面であることを特徴とする請求項6に記載のデータ処理装置。

【請求項8】

前記用紙情報は、印刷用紙サイズ情報及び印刷用紙種類情報を含む

ことを特徴とする請求項1乃至3のいずれか1項に記載のデータ処理装置。

【請求項9】

前記比較手段は、前記用紙情報が示す第1印刷用紙サイズ及び第1印刷用紙種類が、前記給紙部情報が示す給紙可能な第2印刷用紙サイズ及び第2印刷用紙種類の範囲内であるか否かを比較し、

前記比較手段の比較の結果、前記第1印刷用紙サイズ及び第1印刷用紙種類が、前記第2印刷用紙サイズ及び第2印刷用紙種類の範囲内に含まれない場合、前記警告情報出力手段は、前記警告情報を出力することを特徴とする請求項8に記載のデータ処理装置。

【請求項10】

前記用紙情報が示す第1印刷用紙サイズ及び第1印刷用紙種類を給紙可能な、前記給紙部情報が示す第1給紙部以外の第2給紙部が存在する場合、前記警告情報出力手段は、第1警告画面を出力し、それ以外の場合は、第2警告画面を出力することを特徴とする請求項9に記載のデータ処理装置。

【請求項11】

前記印刷装置は、印刷に使用する給紙部として、前記複数の給紙部のいずれか1つを選択する選択手段を備え、

前記第1警告画面は、前記選択手段を操作することによって、前記第1給紙部以外の第

2 紙部を用いた印刷続行が可能である旨を示す画面であり、前記第2警告画面は、印刷続行が不可能である旨を示す画面である

ことを特徴とする請求項10に記載のデータ処理装置。

【請求項12】

前記比較手段の比較結果に基づいて、前記出力対象の印刷データを前記印刷装置へ出力する出力制御手段を更に備える

ことを特徴とする請求項1乃至3のいずれか1項に記載のデータ処理装置。

【請求項13】

複数の給紙部を有する印刷装置に対して、印刷データを出力するデータ処理装置における印刷制御方法であって、

前記印刷装置への出力対象の印刷データに対する印刷設定情報を設定する設定工程と、前記印刷設定情報を含む印刷データを生成する生成工程と、

前記出力対象の印刷データの前記印刷設定情報中の印刷用紙の給紙方法として、前記印刷装置に依存する給紙方法が指定されている場合、該出力対象の印刷データを該印刷装置へ出力する前に、前記印刷設定情報中の印刷用紙に関する用紙情報と前記給紙方法で示される給紙部情報を比較する比較工程と、

前記比較工程の比較結果に基づいて、警告情報を出力する警告情報出力工程とを備えることを特徴とする印刷制御方法。

【請求項14】

複数の給紙部を有する印刷装置に対して、印刷データを出力するデータ処理装置における印刷制御方法であって、

前記印刷装置への出力対象の印刷データに対する印刷設定情報を設定する設定工程と、前記印刷設定情報を含む印刷データを生成する生成工程と、

前記印刷装置で選択されている給紙部に関する給紙部情報を該印刷装置から取得する取得工程と、

前記出力対象の印刷データの前記印刷設定情報中の印刷用紙の給紙方法として、前記印刷装置で選択されている給紙部が指定されている場合、該出力対象の印刷データを該印刷装置へ出力する前に、前記印刷設定情報中の印刷用紙に関する用紙情報と前記取得工程で取得した給紙部情報を比較する比較工程と、

前記比較工程の比較結果に基づいて、警告情報を出力する警告情報出力工程とを備えることを特徴とする印刷制御方法。

【請求項15】

複数の給紙部を有する印刷装置に対して、印刷データを出力するデータ処理装置における印刷制御方法であって、

前記印刷装置への出力対象の印刷データに対する印刷設定情報を設定する設定工程と、前記印刷設定情報を含む印刷データを生成する生成工程と、

前記出力対象の印刷データの前記印刷設定情報中の印刷用紙の給紙方法として、前記複数の給紙部を1つの給紙部とする論理給紙部が指定されている場合、該出力対象の印刷データを出力する前に、前記印刷設定情報中の印刷用紙に関する用紙情報と前記論理給紙部に関する給紙部情報を比較する比較工程と、

前記比較工程の比較結果に基づいて、警告情報を出力する警告出力工程とを備えることを特徴とする印刷制御方法。

【請求項16】

複数の給紙部を有する印刷装置に対して、印刷データを出力するデータ処理装置における印刷制御をコンピュータに実行させるためのプログラムであって、

前記印刷装置への出力対象の印刷データに対する印刷設定情報を設定する設定機能と、前記印刷設定情報を含む印刷データを生成する生成機能と、

前記出力対象の印刷データの前記印刷設定情報中の印刷用紙の給紙方法として、前記印刷装置に依存する給紙方法が指定されている場合、該出力対象の印刷データを該印刷装置へ出力する前に、前記印刷設定情報中の印刷用紙に関する用紙情報と前記給紙方法で示さ

れる給紙部情報とを比較する比較機能と、

前記比較機能の比較結果に基づいて、警告情報を出力する警告情報出力機能と
をコンピュータに実行させることを特徴とするプログラム。

【請求項 17】

複数の給紙部を有する印刷装置に対して、印刷データを出力するデータ処理装置における印刷制御をコンピュータに実行させるためのプログラムであって、

前記印刷装置への出力対象の印刷データに対する印刷設定情報を設定する設定機能と、
前記印刷設定情報を含む印刷データを生成する生成機能と、

前記印刷装置で選択されている給紙部に関する給紙部情報を該印刷装置から取得する取得機能と、

前記出力対象の印刷データの前記印刷設定情報中の印刷用紙の給紙方法として、前記印刷装置で選択されている給紙部が指定されている場合、該出力対象の印刷データを該印刷装置へ出力する前に、前記印刷設定情報中の印刷用紙に関する用紙情報と前記取得機能で取得した給紙部情報を比較する比較機能と、

前記比較機能の比較結果に基づいて、警告情報を出力する警告情報出力機能と
をコンピュータに実行させることを特徴とするプログラム。

【請求項 18】

複数の給紙部を有する印刷装置に対して、印刷データを出力するデータ処理装置における印刷制御をコンピュータに実行させるためのプログラムであって、

前記印刷装置への出力対象の印刷データに対する印刷設定情報を設定する設定機能と、
前記印刷設定情報を含む印刷データを生成する生成機能と、

前記出力対象の印刷データの前記印刷設定情報中の印刷用紙の給紙方法として、前記複数の給紙部を1つの給紙部とする論理給紙部が指定されている場合、該出力対象の印刷データを出力する前に、前記印刷設定情報中の印刷用紙に関する用紙情報と前記論理給紙部に関する給紙部情報を比較する比較機能と、

前記比較機能の比較結果に基づいて、警告情報を出力する警告出力機能と
をコンピュータに実行させることを特徴とするプログラム。

【請求項 19】

印刷装置本体で指定される給紙部で印刷する設定であるか否かを判別する判別手段と、
プリンタ本体で指定される給紙部で印刷する設定であると判別された場合、プリンタからプリンタで指定されている給紙部の情報を取得し、取得した給紙部の情報と印刷ジョブで指定されている用紙サイズに基づいて、サポート外用紙の判定を行い、プリンタ本体で指定される給紙部で印刷する設定でないと判別された場合、印刷ジョブで指定されている用紙サイズに基づいて、サポート外用紙の判定を行う判定手段と、

前記判定手段による判定結果に応じて警告を行う警告手段と
を備えることを特徴とするデータ処理装置。

【請求項 20】

プリンタ本体で指定される給紙部で印刷する設定であると判別された場合、プリンタからプリンタで指定されている給紙部の情報を取得し、取得した給紙部の情報と印刷ジョブで指定されている用紙サイズに基づいて、サポート外用紙の判定を行い、ホスト側で指定した給紙部で印刷する設定であると判別された場合、印刷ジョブで指定されている用紙サイズに基づいて、サポート外用紙の判定を行う判定手段と、

前記判定手段による判定結果に応じて警告を行う警告手段と
を備えることを特徴とするデータ処理装置。

【請求項 21】

自動切替で給紙部を選択する設定であるか否かを判別する判別手段と、

自動切替で給紙部を選択する設定であると判別された場合、対象となる給紙部のサポート用紙サイズをマージし、マージした用紙サイズと印刷ジョブで指定されている用紙サイズに基づいて、サポート外用紙の判定を行い、自動切替で給紙部を選択する設定でないと判別された場合、印刷ジョブで指定されている用紙サイズに基づいて、サポート外用紙

の判定を行う判定手段と、

前記判定手段による判定結果に応じて警告を行う警告手段と
を備えることを特徴とするデータ処理装置。

【請求項 2 2】

自動切替で給紙部を選択する設定であると判別された場合、対象となる給紙部のサポート用紙サイズをマージし、マージした用紙サイズと印刷ジョブで指定されている用紙サイズとに基づいて、サポート外用紙の判定を行い、ホスト側で指定した給紙部を選択する設定であると判別された場合、印刷ジョブで指定されている用紙サイズに基づいて、サポート外用紙の判定を行う判定手段と、

前記判定手段による判定結果に応じて警告を行う警告手段と
を備えることを特徴とするデータ処理装置。

【請求項 2 3】

プリンタ本体で指定される給紙部で印刷する設定であるか否かを判別する判別工程と、
プリンタ本体で指定される給紙部で印刷する設定であると判別された場合、プリンタからプリンタで指定されている給紙部の情報を取得し、取得した給紙部の情報と印刷ジョブで指定されている用紙サイズとに基づいて、サポート外用紙の判定を行い、プリンタ本体で指定される給紙部で印刷する設定でないと判別された場合、印刷ジョブで指定されている用紙サイズに基づいて、サポート外用紙の判定を行う判定工程と、

前記判定工程による判定結果に応じて警告を行う警告工程と
を備えることを特徴とする印刷制御方法。

【請求項 2 4】

プリンタ本体で指定される給紙部で印刷する設定であると判別された場合、プリンタからプリンタで指定されている給紙部の情報を取得し、取得した給紙部の情報と印刷ジョブで指定されている用紙サイズとに基づいて、サポート外用紙の判定を行い、ホスト側で指定した給紙部で印刷する設定であると判別された場合、印刷ジョブで指定されている用紙サイズに基づいて、サポート外用紙の判定を行う判定工程と、

前記判定工程による判定結果に応じて警告を行う警告工程と
を備えることを特徴とする印刷制御方法。

【請求項 2 5】

自動切替で給紙部を選択する設定であるか否かを判別する判別工程と、
自動切替で給紙部を選択する設定であると判別された場合、対象となる給紙部のサポート用紙サイズをマージし、マージした用紙サイズと印刷ジョブで指定されている用紙サイズとに基づいて、サポート外用紙の判定を行い、自動切替で給紙部を選択する設定でないと判別された場合、印刷ジョブで指定されている用紙サイズに基づいて、サポート外用紙の判定を行う判定工程と、

前記判定工程による判定結果に応じて警告を行う警告工程と
を備えることを特徴とする印刷制御方法。

【請求項 2 6】

自動切替で給紙部を選択する設定であると判別された場合、対象となる給紙部のサポート用紙サイズをマージし、マージした用紙サイズと印刷ジョブで指定されている用紙サイズとに基づいて、サポート外用紙の判定を行い、ホスト側で指定した給紙部を選択する設定であると判別された場合、印刷ジョブで指定されている用紙サイズに基づいて、サポート外用紙の判定を行う判定工程と、

前記判定工程による判定結果に応じて警告を行う警告工程と
を備えることを特徴とする印刷制御方法。

【請求項 2 7】

プリンタ本体で指定される給紙部で印刷する設定であるか否かを判別する判別機能と、
プリンタ本体で指定される給紙部で印刷する設定であると判別された場合、プリンタからプリンタで指定されている給紙部の情報を取得し、取得した給紙部の情報と印刷ジョブで指定されている用紙サイズとに基づいて、サポート外用紙の判定を行い、プリンタ本体

で指定される給紙部で印刷する設定でないと判別された場合、印刷ジョブで指定されている用紙サイズに基づいて、サポート外用紙の判定を行う判定機能と、
前記判定機能による判定結果に応じて警告を行う警告機能と
をコンピュータに実行させることを特徴とするプログラム。

【請求項 28】

プリンタ本体で指定される給紙部で印刷する設定であると判別された場合、プリンタからプリンタで指定されている給紙部の情報を取得し、取得した給紙部の情報と印刷ジョブで指定されている用紙サイズに基づいて、サポート外用紙の判定を行い、ホスト側で指定した給紙部で印刷する設定であると判別された場合、印刷ジョブで指定されている用紙サイズに基づいて、サポート外用紙の判定を行う判定機能と、

前記判定機能による判定結果に応じて警告を行う警告機能と
を備えることを特徴とするプログラム。

【請求項 29】

自動切替で給紙部を選択する設定であるか否かを判別する判別機能と、
自動切替で給紙部を選択する設定であると判別された場合、対象となる給紙部のサポート用紙サイズをマージし、マージした用紙サイズと印刷ジョブで指定されている用紙サイズに基づいて、サポート外用紙の判定を行い、自動切替で給紙部を選択する設定でないと判別された場合、印刷ジョブで指定されている用紙サイズに基づいて、サポート外用紙の判定を行う判定機能と、
前記判定機能による判定結果に応じて警告を行う警告機能と
を備えることを特徴とするプログラム。

【請求項 30】

自動切替で給紙部を選択する設定であると判別された場合、対象となる給紙部のサポート用紙サイズをマージし、マージした用紙サイズと印刷ジョブで指定されている用紙サイズに基づいて、サポート外用紙の判定を行い、ホスト側で指定した給紙部を選択する設定であると判別された場合、印刷ジョブで指定されている用紙サイズに基づいて、サポート外用紙の判定を行う判定機能と、

前記判定機能による判定結果に応じて警告を行う警告機能と
を備えることを特徴とするプログラム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0020

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0020】

上記の目的を達成するための本発明によるデータ処理装置は以下の構成を備える。即ち、
複数の給紙部を有する印刷装置に対して、印刷データを出力するデータ処理装置であつて、

前記印刷装置への出力対象の印刷データに対する印刷設定情報を設定する設定手段と、
前記印刷設定情報を含む印刷データを生成する生成手段と、

前記出力対象の印刷データの前記印刷設定情報中の印刷用紙の給紙方法として、前記印刷装置に依存する給紙方法が指定されている場合、該出力対象の印刷データを該印刷装置へ出力する前に、前記印刷設定情報中の印刷用紙に関する用紙情報と前記給紙方法で示される給紙部情報とを比較する比較手段と、

前記比較手段の比較結果に基づいて、警告情報を出力する警告情報出力手段と
を備える。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0024

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0024】

また、好ましくは、前記比較手段は、前記用紙情報が示す第1印刷用紙サイズが、前記給紙部情報が示す給紙可能な第2印刷用紙サイズの範囲内であるか否かを比較し、

前記比較手段の比較の結果、前記第1印刷用紙サイズが、前記第2印刷用紙サイズの範囲内に含まれない場合、前記警告情報出力手段は、前記警告情報を出力する。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0025

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0025】

また、好ましくは、前記用紙情報が示す第1印刷用紙サイズを給紙可能な、前記給紙部情報が示す第1給紙部以外の第2給紙部が存在する場合、前記警告情報出力手段は、第1警告画面を出力し、それ以外の場合は、第2警告画面を出力する。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0026

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0026】

また、好ましくは、前記印刷装置は、印刷に使用する給紙部として、前記複数の給紙部のいずれか1つを選択する選択手段を備え、

前記第1警告画面は、前記選択手段を操作することによって、前記第1給紙部以外の第2給紙部を用いた印刷続行が可能である旨を示す画面であり、前記第2警告画面は、印刷続行が不可能である旨を示す画面である。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0028

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0028】

また、好ましくは、前記比較手段は、前記用紙情報が示す第1印刷用紙サイズ及び第1印刷用紙種類が、前記給紙部情報が示す給紙可能な第2印刷用紙サイズ及び第2印刷用紙種類の範囲内であるか否かを比較し、

前記比較手段の比較の結果、前記第1印刷用紙サイズ及び第1印刷用紙種類が、前記第2印刷用紙サイズ及び第2印刷用紙種類の範囲内に含まれない場合、前記警告情報出力手段は、前記警告情報を出力する。

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0029

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0029】

また、好ましくは、前記用紙情報が示す第1印刷用紙サイズ及び第1印刷用紙種類を給紙可能な、前記給紙部情報が示す第1給紙部以外の第2給紙部が存在する場合、前記警告情報出力手段は、第1警告画面を出力し、それ以外の場合は、第2警告画面を出力する。

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0030

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0030】

前記印刷装置は、印刷に使用する給紙部として、前記複数の給紙部のいずれか1つを選択する選択手段を備え、

前記第1警告画面は、前記選択手段を操作することによって、前記第1給紙部以外の第2給紙部を用いた印刷続行が可能である旨を示す画面であり、前記第2警告画面は、印刷続行が不可能である旨を示す画面である。

【手続補正9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0032

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0032】

上記の目的を達成するための本発明による印刷制御方法は以下の構成を備える。即ち、複数の給紙部を有する印刷装置に対して、印刷データを出力するデータ処理装置における印刷制御方法であって、

前記印刷装置への出力対象の印刷データに対する印刷設定情報を設定する設定工程と、前記印刷設定情報を含む印刷データを生成する生成工程と、

前記出力対象の印刷データの前記印刷設定情報中の印刷用紙の給紙方法として、前記印刷装置に依存する給紙方法が指定されている場合、該出力対象の印刷データを該印刷装置へ出力する前に、前記印刷設定情報中の印刷用紙に関する用紙情報と前記給紙方法で示される給紙部情報とを比較する比較工程と、

前記比較工程の比較結果に基づいて、警告情報を出力する警告情報出力工程とを備える。

【手続補正10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0035

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0035】

上記の目的を達成するための本発明によるプログラムは以下の構成を備える。即ち、複数の給紙部を有する印刷装置に対して、印刷データを出力するデータ処理装置における印刷制御をコンピュータに実行させるためのプログラムであって、

前記印刷装置への出力対象の印刷データに対する印刷設定情報を設定する設定機能と、前記印刷設定情報を含む印刷データを生成する生成機能と、

前記出力対象の印刷データの前記印刷設定情報中の印刷用紙の給紙方法として、前記印刷装置に依存する給紙方法が指定されている場合、該出力対象の印刷データを該印刷装置へ出力する前に、前記印刷設定情報中の印刷用紙に関する用紙情報と前記給紙方法で示される給紙部情報とを比較する比較機能と、

前記比較機能の比較結果に基づいて、警告情報を出力する警告情報出力機能とをコンピュータに実行させる。

【手続補正11】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0036

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0036】

上記の目的を達成するための本発明によるプログラムは以下の構成を備える。即ち、

複数の給紙部を有する印刷装置に対して、印刷データを出力するデータ処理装置における印刷制御をコンピュータに実行させるためのプログラムであって、

前記印刷装置への出力対象の印刷データに対する印刷設定情報を設定する設定機能と、

前記印刷設定情報を含む印刷データを生成する生成機能と、

前記印刷装置で選択されている給紙部に関する給紙部情報を該印刷装置から取得する取得機能と、

前記出力対象の印刷データの前記印刷設定情報中の印刷用紙の給紙方法として、前記印刷装置で選択されている給紙部が指定されている場合、該出力対象の印刷データを該印刷装置へ出力する前に、前記印刷設定情報中の印刷用紙に関する用紙情報と前記取得機能で取得した給紙部情報を比較する比較機能と、

前記比較機能の比較結果に基づいて、警告情報を出力する警告情報出力機能と

をコンピュータに実行させる。

【手続補正 1 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 7】

上記の目的を達成するための本発明によるプログラムは以下の構成を備える。即ち、

複数の給紙部を有する印刷装置に対して、印刷データを出力するデータ処理装置における印刷制御をコンピュータに実行させるためのプログラムであって、

前記印刷装置への出力対象の印刷データに対する印刷設定情報を設定する設定機能と、

前記印刷設定情報を含む印刷データを生成する生成機能と、

前記出力対象の印刷データの前記印刷設定情報中の印刷用紙の給紙方法として、前記複数の給紙部を1つの給紙部とする論理給紙部が指定されている場合、該出力対象の印刷データを出力する前に、前記印刷設定情報中の印刷用紙に関する用紙情報と前記論理給紙部に関する給紙部情報を比較する比較機能と、

前記比較機能の比較結果に基づいて、警告情報を出力する警告情報出力機能と

をコンピュータに実行させる。